

# 事業評価調書

## ◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	23730	
事業名	定山溪地区魅力アップ費						
評価担当課	所属名	経)観光・MI 観光・MICE					
	課長名	西田	担当者名	横田	電話番号	211-2376	
施策名	主	魅力あるまちづくりと観光振興の一体的推進					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ● その他					
	目的	短期	withコロナ期においては、地域内観光のニーズが高くなることから、これまでの取組を継続しながら、市民利用を促す取り組みについても更に推進していく。				
		長期	域外からの観光需要が回復した際に、旅行先として定山溪が選ばれるため、定山溪観光魅力アップ構想に基づき、定山溪観光協会、観光関連事業者等と一体となって、ソフト・ハードの両面から魅力の底上げを図っていく。				
	取組内容	「定山溪観光魅力アップ構想」に基づき、ソフト・ハード両面の整備を実施する。 ①温泉街らしさにぎわいづくり ②広域的なネットワーク化による新たな魅力創出 ③魅力を伝える情報発信インフォメーションの強化 ④魅力アップの担い手育成とマネジメント					
実施結果	①老朽化した施設等の改築や、地元事業者が行う修景事業に対し一部費用を補助。 ②イベントに係る費用や、日帰り観光客の域内周遊促進を目的としたクーポン発行にかかる費用の一部補助を実施。 ③定山溪観光協会公式ホームページの全面改修や、観光スポットにQRコード付き看板を設置し、エリア紹介とルート案内を可能にするための費用を一部補助。 ④定山溪ガイド検定の規約検討、教材映像資料作成等に係る費用の一部補助。						
事業実施における工夫点	事業実施に当たっては、地域の現状を把握し、地元意見を反映できるよう、定山溪観光協会や地元観光事業者との意見交換を行いながら進めている。						
対象者	来札観光客、市民、観光関連事業者			開始	0 年度	終了	0 年度
関連法令・条例・要綱等							
他都市の状況	温泉地を有する都市では、入湯税の還元として、補助や施設整備のほか、温泉街と連携した魅力づくり、PRなどを行っている。						

## ◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	150,803	200,000	164,881	200,000	
うち特定財源	0	0	0	3,000	
人工	1.1	0.9	0.9	1.0	
人件費	7,920	6,480	6,480	7,200	
計(事業費+人件費)	158,723	206,480	171,361	207,200	
事業費の内訳	令和3年度決算	修景支援補助:26,142千円、定山溪周辺環境整備:53,063千円、イベント補助:37,000千円、定山溪地区誘客促進事業補助:19,782千円、定山溪観光案内所運営委託:5,892千円、定山溪地区情報発信強化事業補助:20,000千円、定山溪地区人材育成事業補助:3,000千円			
	令和4年度予算	修景支援補助:50,000千円、定山溪周辺環境整備:21,500千円、定山溪地区空き店舗活用事業補助:10,000千円、イベント補助:37,000千円、定山溪地区誘客促進事業補助:32,000千円、定山溪地区アクティビティコンテンツ推進事業補助:20,000千円、定山溪観光案内所運営委託:6,000千円、定山溪地区情報発信強化事業補助:20,000千円、定山溪地区人材育成事業補助:3,000千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	定山溪の宿泊者数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	361,000人	700,000人	394,000人	800,000人	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名	定山溪の宿泊者数			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	361,000人	700,000人	394,000人	800,000人	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度における定山溪の入込数は大きく減少した。しかし、イベント来客数の大幅な減少はなく、トイレの改築工事や、修景支援補助事業による景観整備を引き続き実施するなど、定山溪地区全体でアフターコロナに向けた取組を積極的に実施した。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	定山溪観光協会への補助金については、「定山溪観光魅力アップ構想」に基づき、これまで同協会が実施してきた事業を踏まえ、適切な額を交付している。また、各補助事業は、地域住民やホテル・旅館等事業者の意向及び類似事例調査の結果に基づき詳細な交付要綱を定めており、適切な事業規模で実施している。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	定山溪地区において事業を実施するにあたっては、地区全体が一体となって地域を盛り上げていくために、地域やホテル・旅館等の事業者との十分な調整が必要であり、定山溪の観光振興を総合的に行っている定山溪観光協会への補助を中心とした事業実施は適切と考える。また、修景支援事業については、地域による自発的な事業活用を促すものであり、事業実施は適切と考える。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに込えているか)	A	定山溪で実施している各種イベントの盛り上がり、各種プロモーションの強化は継続しており、温泉街の賑わいが創出されている。また、修景支援事業を実施することにより、温泉街の魅力的な景観形成が進んでおり、観光客の満足度向上につながっている。さらに、日帰り観光客の域内周遊のクーポンを発行することで、入込数の増加に寄与している。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	定山溪観光魅力アップ構想に基づき、課題であった老朽化施設の改築、観光客等のニーズに合致するイベントのレベルアップ、既存事業のプロモーション等、全体的に拡充を図っていく必要がある。				
前回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	・「定山溪ネイチャールミネリエ」のレベルアップ ・誘客促進を目的としたクーポン事業への補助を実施 ・定山溪地区のプロモーションのレベルアップ		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた中で、市内観光客の誘客を図り、また、アフターコロナに向けた老朽化施設の改修等の景観整備等を積極的に実施している。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	● 改善    ○ 現状維持    ○ 休止・廃止 地域と意見交換を行いながら実施し、定山溪エリア全体の活性化を図っていく。			
	予算	● 拡充    ○ 現状維持    ○ 縮小    ○ その他 定山溪観光魅力アップ構想に基づく事業を実施するため、適切な予算措置を行う。		見直し効果額	0